



私のやりたいこと

リナ エンフビレグ
RINA ENKHBILEG

母は、目的を持って生きるのが一番だと教えてくれました。私はまだ夢が一つも実現していませんが、いつの日か最も重要な夢を実現できると信じています。

大学卒業後、イベント会社でアシスタントマネージャーとして働き始めた時は自分の夢が叶ったような気持ちでした。しかし、3カ月ぐらい働いた後、1日中電話でのやり取りがメインのその仕事は私のしたいことと違うと感じ始めました。私が一番やりたいことは人に喜びを与えたり幸せを感じさせたりすることでした。何か違うことができないかと考えていた時に、母から日本に行くことを勧められました。

その話に興味を引かれたので、すぐにモンゴルの日本語学校の校長先生に会いに行きました。そして、校長先生から実習生の話を聞き、私は日本に行くという新しい目的ができました。毎日日本語学校で熱心に勉強した後私は介護技能実習生として日本に行くことになり、来日前にモンゴルの老人ホームで研修生として働きました。人口が少なく高齢者も少ないため、モンゴルには老人ホームがありません。私は「マザーテレサの老人ホーム」という所で24時間の住み込みで研修を体験しましたが、正直言って想像以上に大変でした。勤務初日には、あまりのきつさに続けられないと思い諦めかけました。特に大人の排便ケアなどは簡単にできるものではありませんでした。しかし、最期まで面倒をみてくれた恩師との約束を守らな

いといけないと自分に言い聞かせて研修期間を終わらせる決意をしました。意識を変えて頑張ろうと自分に言い聞かせて3日目ぐらいから仕事への見方が変わりました。なぜなら、利用者さんたちの温かい眼差しや感謝の言葉に元気をもらうようになったおかげで、仕事が好きになり始めたからです。

研修先で一緒に働く職員の中には利用者さんに優しくする人も厳しくする人もいました。私にとって利用者さんは子供のように感じました。親の接し方で子供は笑顔になったり泣いたりします。利用者さんも私たちの接し方に大きく影響されます。だからこそ、最後まで見守り、少しでも笑顔になってもらえるのがこの仕事の楽しいところだと気が付きました。来日する前の研修のおかげで私は日本でも介護の仕事ができる自信を持つことが出来ました。

私のこれからの夢は、日本での介護の仕事を大切にし、より多くのお年寄りにより良い一日を提供することです。そして、将来は日本での経験を活かし、モンゴルに日本のような老人ホームを開設し、モンゴルの老人ホーム業を発展させたいと思います。私は介護職員として働くことでモンゴルにいる時から探し求めていた本当に自分がやりたかったことに出会えました。そして、母が教えてくれた何か目的を持って生きることの大切さを知ることができたのです。

受賞の喜び



リナ エンフビレグ

国 籍 モンゴル
職 種 介護
実 習 実 施 者 西予市野村介護老人保健施設つくし苑
監 理 団 体 公益財団法人国際労務管理財団

日本語作文コンクールで、優秀賞をいただきありがとうございました。驚きと喜びと感謝の気持ちでいっぱいです。

この賞をいただけたのは、自分一人の力ではなく、日本語を教えていただいた指導員、先生、いつも応援してくれる日本の方々のおかげです。

日本に来てもうすぐ一年半になります。日本での実習を通してたくさんのことを習得しています。これからも介護技術や日本語の勉強に励み、みなさんと一緒に楽しい思い出を作るため、積極的に生活を楽しんでいきたいです。

この貴重なチャンスを与えてくださったJITCOの皆様に関心から感謝します。

本当にありがとうございました。

指導員のことは

ビレグさん、優秀賞受賞おめでとうございます。初めての日本、愛媛県西予市での実習が始まり一年が過ぎましたね。

高齢者の方と関わる中で、相手を理解しようと、一生懸命日本語の勉強に励んでいましたね。日本の歌を覚え、利用者様と一緒に歌う等、自分から積極的に打ち解けようとする気持ちが、日本語の上達につながったのではないかと思います。

地域の方との交流も大切にされ、親しく接している姿を見てると微笑ましく思います。

日本での生活の中で、たくさんの事が経験できるよう、そして更に活躍が出来るよう、私たちも丁寧に、心を込めて言葉を伝えていきます。

これからも様々な事に一緒にチャレンジしていきましょう。

西予市野村介護老人保健施設つくし苑 指導員 河野 昌子